

中国における「池田思想」研究の動向（5）

高橋 強

1) 池田思想研究の学術シンポジウム

(1) 「池田大作先生80歳傘寿記念学術報告会」

創業者池田大作博士の傘寿（80歳）を記念する学術シンポジウムが、2008年2月27日、北京大学で開催された。これには国家指導者（全国人民代表大会常務委員会の許嘉璐副委員長、全国政治協商会議の羅豪才副主席等）、北京大学の許智宏学長はじめ全国20大学の首脳、中日友好協会、中華全国青年連合会等各団体の代表約350名が参加した。

1968年池田博士は「日中国交正常化提言」をし、74年に初訪中をして以来10度にわたって訪中をし、学術・教育・文化交流を推進し、日中友好促進に大きく貢献して来た。特に北京大学には74年以降7度訪問し、3回の学術記念講演を行い、79年には学術教育交流の覚書を締結し、以後両校の有意義な交流に尽力している。2001年北京大学では「池田大作研究会」が設立されている。

発表された基調報告は、以下の通りである。

「“68年”中日国交正常化提言をめぐって」（題名は執筆者高橋が便宜上付した）劉徳有（対外文化交流協会常務副会長）

「池田大作の成功の道を探求する」賈蕙萱（北京大学池田大作研究会会長）

「池田大作の人生教育学を論ず」紀亜光（南開大学思想文化教育学院副院長）

(2) 「第2回池田大作思想研究フォーラム」

中国文化大学（台湾）は、5月8日、「輝く地球の未来に向かって」と題し昨年に引き続き、第2回目の池田大作思想研究フォーラムを開催した。これには「池田大作研究室」をオープンした雲林科技大学、台南科技大学、南台科技大学の学者等約200名が参加した。

基調報告では張鏡湖中国文化大学理事長が「池田大作先生の世界平和に対する見解」と題し講演を行い、池田博士の孫中山思想に対する理解や歴史学者トインビー、前ソ連大統領ゴルバチョフとの対談および1991年ハーバード大学での講演「ソフトパワーの時代と哲学」等の観点より、池田博士の世界平和に対する影響と貢献を論述した。この他、9名の教授が、池田博士

の平和、環境保護、教育等の思想について様々な領域から論じた。

発表された論文は、以下の通りである（発表順）。

『地球平和への探求』から見た池田大作とジョセフ・ロートブラットの永久平和への探求
王吉林（中国文化大学文学院院长）

「われわれは一匹の鯉を残すのみ——『地球を愛して』を読んで」劉広英（中国文化大学理学院院長）

「平和の饗宴——『二十一世紀への選択』を読んで」歐陽教（中国文化大学教育学院院長）

「池田大作の『法華経の慈光』の現代社会への啓示」康雲山（南台科技大学）

「世界的環境保護の現況と展望——池田大作先生の環境保護観」盧昭彰（台南科技大学）

「池田大作の生命尊厳理念と中道思想の実践」陳育澗（南台科技大学）

「池田大作の平和思想形成過程の探求」劉焜輝（中国文化大学）

「対話の文明」陳鵬仁（中国文化大学）

「大学の智慧の教育に対する重要性——池田大作の大学の人材に対する内発教育の啓示」林彩梅（中国文化大学「池田大作研究センター」主任、商学院院長）

(3) 「平和的發展における文化と教育」学術シンポジウム

華南師範大学で5月21日、22日、「平和的發展における文化と教育」と題し、池田思想学術シンポジウムが開催された。これには、同月20日に開設された広東社会科学院「広東池田大作研究会」、同月21日に開設されたばかりの華南師範大学「池田大作先生教育思想研究所」および池田研究機関のある中山大学、広東外語外貿大学、肇慶学院、韶関学院、創価大学等から約70名の研究者が参加し、23編の論文が提出された。

以下、提出された論文である。

「人間理性の輝き——池田大作思想と21世紀人類文明」梁桂全（広東社会科学院）

「池田大作の平和主義思想」鐘明華、陳慶超（中山大学）

「平和的發展における文化の力——池田大作の平和文化思想」温憲元（広東社会科学院）

「調和世界構築の重要な示唆——池田大作の平和思想と実践」汪鴻祥（創価大学）

「世界平和の為に努力する中華古典仏教学と日本の現代仏教学——池田大作の生涯と信念」雷鐸（広東社会科学院）

「戦争へ向けての陰影——池田大作の平和歴史観」黄順力（アモイ大学）

「道家思想と池田大作の生命自然観」李曙豪、黄華明（韶関学院）

「王陽明の良知主体哲学およびその歴史的影響と現代的価値」李霞（安徽大学）

「東洋の価値観：共通性の上の中日交流——池田大作研究の側面」曲鴻亮（福建社会科学院）

「転型期の言語における男女平等の価値観」李勝、陳曉春（湖南大学）

「日本語における西洋外来語と西洋文化の受容」李冬松（暨南大学）

「池田大作の人間主義を原点とする教育観——創価大学の建学の精神を中心として」高橋強（創価大学）

「異文化教育と中日理解——文化人類学研究の視点より再考」河合洋尚（嘉応学院）

「中日道德教育の歴史的伝統」王麗榮（中山大學）

「池田大作の生涯教育思想の教育專業化進展に対する現実的意義」蔣菊（肇慶學院）

「創価教育理念から出発した幾つかの考察」韋立新（広東外語外貿大学）

「東南アジアの道德教育の特色に対する幾つかの考察」劉卓紅、王夏冰（華南師範大学）

「人を本とし、未来に向かう教育の道——池田大作教育思想緒論」鄭一書、孫立川（福建師範大学、香港天地圖書）

「二十一世紀持続可能な発展と国民教育の道」張宇（香港理工大学）

「池田大作の人材観」張燕婷（肇慶學院）

「女性の美と力——冰心と池田大作の女性観」王炳根（福建冰心文学館）

「新世紀の予言——『眺望人類新世紀——トインビー、池田大作対談』を読んで」蘇衛平、楊君游、蔡德麟（清華大学深圳大学院、深圳大学）

「非政府組織と經濟發展」陳曉春、李勝（湖南大学）

同シンポジウムには以下の総括が、劉卓紅教授よりなされた。

最初に、討論された内容を次の何点かに要約する。

- ① 会議の主題に関連させ、池田大作先生の教育思想と実践および平和思想と実践に対し、重点的に論じている。

ある学者は、池田先生の教育思想の哲学的基礎は生命尊厳論、宇宙生命論、感応妙であり、「生命尊厳」理論を一貫して貫き、「教育主義、文化主義、平和主義」の三位一体的特長を、精緻に概括している。

ある学者は、池田先生の教育思想の原点は人を以って本とすることであり、生命の尊重、人間性の開発を以って最高の目的とすることであると明確に指摘し、池田先生の教育思想とその他の思想を関連させながら論議し、一切の思想は教育に集約されていると述べている。

ある学者は、池田先生の教育思想を分析するところから着手し、創価教育理念に対し、それは「生命の尊厳を守り、個人の人格を尊重し、人を以って本とし、人間を以って重とする」という中心的価値理念であると概括し、創価教育理念の現代社会、また中国での現実的価値を指摘している。即ち、文化建設に対する価値、人を以って本とする社会発展に対する価値、中日世代友好を促進する実践的価値のことである。

いくらかの学者は、教育の視点から、池田先生の思想と東洋の価値観、地域文化、道德教育の関連を論じ、中日道德教育史に対し論及し、かなりの啓発をもたらしている。

教育の対象は教師も包括している。池田先生の教育観は、教師は生涯教育を行う必要があると指摘しているが、この思想は高い評価を受けた。

平和と発展への追求、調和世界の構築は、参加者が池田思想に対し注目したもう一つの話題である。提出された論文も比較的多い。論文は、池田先生の平和思想と実践に対し、深く論じ、多くの深い見方を提起し、更に重要なことは、池田先生の平和思想の調和社会と調和世界構築に対する重要な現実的意義を指摘していることである。池田先生は、生涯を通し戦争に反対し、平和を促進し、その上、彼の平和的対話即ち“池田提言”を通し、中日国交正常化を促進し、中日両国の長期の友好を実現し、国際間の平和発展と協力の為に、大きな貢献をしてきた。

日本の学者は、一つの広い歴史の視点から池田先生の平和思想の形成を紹介し、その上、その核心的内容に対し高い総括をしている。それは一種の宗教、民族、国家を超えた、国際的な協力を推進する思想的基礎である。更に自身と池田先生の出合いから出発して、池田先生に対する感想、池田先生の高尚な人格、偉大な国際主義的な度量および平和思想のわが国社会主義建設に対する実践的意義を論じている。大変に啓発的である。

またある学者は、歴史文化的な視点から、時代発展の高次元から、池田先生の平和発展思想に対し、文化の力として独特な論及をしている。

またある学者は、平和主義の視点から池田先生の平和思想を研究し、“他者を包容”するといった平和的対話方式を提起しているが、それは池田先生の平和思想を実践する重要なプロセスである。

② 参加者はまた、池田先生の社会発展観、宗教観、生命観、女性観、人材観等の問題に対し、広く討論し意見交換をした。

即ち、多くの学者は、池田先生の社会発展思想と、今日社会の持続的発展理論との間の関係に対し特色ある研究をし、池田先生の社会的持続的発展および環境教育を推進する中での役割と貢献を指摘し、また池田先生は持続的発展理論の最も早い提唱者の一人であるとの視点を提起した。

いくらかの学者は、道家思想と仏教思想のような中華の伝統文化と池田先生の思想を関連させるところから研究を起し、その哲学的基礎、宗教的思想に対し、広い論及をしている。両者の関連を討論する中で、池田思想を“道”の視点まで高めて理解している。宗教の視点から、人間、平和、人類文化、智慧の四つの問題に対し深い研究をし、多くの見識ある独特の視点を提起し、新鮮な感をもたらした。ある学者は、宗教理論を用いて、池田先生の思想を分析し、その自然観、宇宙観、衆生平等思想に対し深い言及をしている。一致した認識は、哲学と文化の基礎としての深い宗教思想が存在するからこそ、池田先生の思想は世界特にアジアにおいて広く認められるのである。

またある学者は、自身の学術研究領域から、池田先生の女性観と冰心の女性観の比較研究をしており、大変に価値ある研究領域である。そこでは両者の関連および女性観上の共通理念を紹介し、男女平等の立場に立ち、女性の賛美に対し、女性の存在と価値に対し、独特な解釈をしている。

- ③ 平和的發展というテーマの下、中日文化交流、国際文化教育、社会転換期の言語における男女平等価値観等に対する有意義な討論をした。

ある日本の学者は、文化人類学の視点と意義から日中国際文化教育の現状に対し、特色ある論及をし、国際文化教育における問題を指摘し、また指摘した異なった文化間で必要な相互理解の視点は新しく、高い学理的価値が見受けられた。

- ④ 参加者は、池田先生が今年胡錦濤主席の“暖春之旅”の際、胡主席に贈呈した詩に対し、討論し研究した。池田先生の素晴らしい詩を味わい、シンポジウムに花を添えた。

今回のシンポジウムの成功はどこに表現されたのか。それは、以下の3点にまとめられる。

- 第1. テーマが大変に明確で、即ち、平和、發展、文化、教育の4つのキーワードは今日的テーマを反映し、二十一世紀の世界發展の趨勢をも代表していた。同時にシンポジウムのテーマは、池田思想の精髓と本質をも反映していた。従って、今回シンポジウムの開催は、中国と世界の發展に対する探求ばかりでなく、池田先生の思想に対して更に深く研究することになり、重要な学術的価値と現実的意義があった。
- 第2. 今回のシンポジウムは、これまで中国各大学の池田思想研究所が開催してきた一連のシンポジウムの基礎の上にあり、池田先生の思想に対し、深い討論を行ったものであり、また一つの成果である。シンポジウムでは多くの見識のある、学術的価値のある理論的成果が提出され、今後継続的に深く研究されていくであろう関連の課題の為に、素晴らしい基礎を提供した。そればかりでなく、今回のシンポジウムは、中国国内、香港、および日本の学者に相互交流と切磋琢磨の舞台を提供した。学术交流の過程で、学術が深化したばかりでなく、理解と友誼が増進され、今後の長きにわたる良好な基礎が出来上がった。
- 第3. 今回のシンポジウムは、テーマについての討論を展開した以外に、広東省社会科学院での広東池田大作研究会および池田大作図書展開幕式の開催が、また華南師範大学での池田大作先生著作展および図書贈呈式の開催があった。華南師範大学池田大作先生教育思想研究所のプレートも掲げられた。この一連の活動は、我々と創価大学、香港創価学会および広東と全国の関連研究所と研究者の連携を強め、池田先生の思想を広め、平和と知識を広め、友誼を増進してゆくであろう。

(4) 「平和と教育——池田大作思想国際学術シンポジウム」

北京師範大学で、10月25日、26日「平和と教育」と題し開催された。これには47大学・諸団体の研究者ら約180名が参加した。同シンポジウムは、池田博士の「日中国交正常化提言」40周年の記念の意義も込められており、数編の関連の論文が発表された。

今回のシンポジウムには、新たに設立された（設立決定も含めて）陝西師範大学「池田大作・香峯子研究センター」、広東社会科学院「広東池田大作研究会」、華南師範大学「池田大作先生

教育思想研究所、嘉応学院「池田大作文化哲学研究所」、韶関学院「池田大作思想研究所」も参加して大変に盛況であった。さらに、中山大学、湖南大学、南開大学、北京師範大学等からの大学院生も鋭意、研究成果を発表した。

以下、基調報告および分科会に提出された論文を紹介する。提出論文は60編である。

基調報告

「教育は疎通と理解の橋梁、平和を撒き送る種子」顧明遠（北京師範大学）

「“和”の哲学と現代国際理解教育」項賢明（北京師範大学）

「池田先生の“9・8提言”40周年を記念しての幾つかの感想」宋成有（北京大学）

「68年『池田提言』と平和教育」高橋強（創価大学）

「創価教育学における教育目的」樋口勝（創価大学）

「平和教育の哲学的考察」石中英（北京師範大学）

「智慧と共生教育の重要性を論ずる」林彩梅（中国文化大学）

分科会（25日）

池田大作平和教育思想Ⅰセッション

「池田大作平和文化思想と現代平和文化精神」温憲元（広東社会科学院）

「池田大作平和教育思想」王学風（華南師範大学）

「池田大作先生の平和教育」孫静霞（杉達学院）

「現実社会の修行者——池田大作の平和と教育思想」劉軍（湖南大学院生）

「池田大作の組織力を以って推進する世界平和思想」李勝（湖南大学院生）

平和教育と国際理解セッション

「国際理解教育と21世紀大学の使命」施曉光（北京大学）

「平和教育の歴史的変遷と実施方式」孔令帥（北京師範大学院生）

「池田大作の平和思想と岳麓書院精神の研究」陳曉春（湖南大学）

「池田大作“国際理解教育”思想」王麗榮（中山大学）

「国際化教育と中日両国の平和的共生」紀廷許（北京旅游学院）

“人を以って本とする”と教育セッション

「池田大作の主題思想——人間論」賈蕙萱（北京大学）

「池田大作の人間教育思想から見た東南アジアの道德教育」劉卓紅（華南師範大学）

「“人を以って本とする”と世界平和の調和的統一——池田大作の人生教育思想」紀晔光（南開大学）

「池田大作の“人を以って本とする”大学教育観」章楊（南開大学院生）

「池田大作の人間教育の実践——創価大学学生寮とクラブ活動を中心として」竹口春菜（中山大学院生）

アジアの平和と教育セッション

- 『池田提言』と中日関係の発展」汪鴻祥（創価大学）
- 「平和的視野に立った中国観と日本観」黄順力（アモイ大学）
- 「池田大作の平和思想と東南アジアの安全と協力」劉少華（湖南大学）
- 「出発と衝突——池田大作の東南アジア平和理論」林振武（嘉応学院）
- 「池田大作、公明党と中日国交正常化」葛亜坤（南開大学院生）

平和教育実践セッション

- 「池田大作の教育思想と中国の教育政策」唐彦博（育達商業技術学院）
- 「池田思想と創価教育」川崎高志（創価大学）
- 「創価学園と人間教育」奥田真紀子（中山大学院生）
- 「中国小学校の品德と社会科における平和教育」郭雯霞（人民教育出版社）
- 「牧口常三郎とジョン・デューイ——地理学への関心」伊藤貴雄（創価大学）

分科会（26日）

池田大作哲学思想セッション

- 「池田哲学の原点」韓東育（東北師範大学）
- 「池田大作思想の原点——提言を中心として」韋立新（広東外語外貿大学）
- 「池田大作の生命哲学思想」鐘明華（中山大学）
- 「教育の公平性は調和社会の重要な礎石」武傑（江西省教育科学研究所）

池田大作教育思想セッション

- 「閲読は調和に至る——池田大作の調和読書教育観」官建生（韶関学院）
- 『青春対話』から見た池田大作の理想信念教育思想」單珏慧（浙江大学）
- 「池田先生の調和的教員学生関係の基本理念とその現代的意義」蔣菊（肇慶学院）
- 「池田大作の教育目的論の究極的意義」崔学森（遼寧師範大学）
- 「教育生産力から見た池田大作教育思想研究」譚娟（湖南大学院生）

池田大作の文学と美学思想セッション

- 「池田大作の“人間”文学観」陳多友（広東外語外貿大学）
- 「池田大作美育理論と実践」趙慧英（遼寧師範大学）
- 「池田大作先生の音楽文化思想」董芳勝（創価大学）
- 「人と自然の調和の美」王亜（韶関学院）
- 「心と影の対話：池田大作撮影作品鑑賞」李曙豪（韶関学院）

池田大作平和教育思想Ⅱセッション

- 「国際関係背景下の池田大作平和思想」 丁晟（南開大学院生）
- 「国際的な人材を育て、中日友好の金の橋を構築」 盧寧（広西師範大学）
- 「68年池田提言の道徳的価値」 倪素香（武漢大学）
- 「共生、融合：池田大作多元文化教育思想および我國民教育に対する啓示」 趙珊（湖南大学院生）
- 「生命変革は世界平和の指標」 劉焜輝（中国文化大学）

池田大作平和教育思想Ⅲセッション

- 「平和教育観——文化伝播者の使命」 劉建榮（湖南師範大学）
- 「平和と教育の基本的関係」 俞慰剛（華東理工大学）
- 『螢の舞う時』を読んで 蔣青（華東理工大学）
- 「創新、企業家精神と現代大学の成功」 周豊強（広東外語外貿大学）
- 「池田大作の“対話”モデルから見た池田平和理念」 拜根興（陝西師範大学）
- 「池田大作の人間主義教育思想及びその啓示」 孫謙（復旦大学）
- 「池田大作の芸術教育思想と実践」 孫立川（香港天地圖書）

提出された論文の中では、やはり「平和と教育」のテーマに沿ったものが多数を占めた。平和思想に関する論文は約12編であったが、その分析の視点が大変に興味深い。例えば、哲学、平和文化、平和教育の歴史の変遷、中国観・日本観、東南アジアの安全と協力・平和、国際関係の枠組み、国際人の育成、文化交流、現実社会の実践者、国際的組織の力等の視点から考察されていた。教育思想に関してはやはり約12編ほど発表された。その立脚している視点は様々で、池田博士の教育思想の広範さを示している。例えば、智慧と共生、平和、国際理解、人を以って本とする大学教育、調和的読書、理想信念、教育生産力、多元文化等の観点である。なお教育目的論の論文も2編含まれており、着実な成果が蓄積されつつある。この度のシンポジウムは、池田の1968年「日中国交正常化提言」40周年も記念して開催されたという背景もあり、68年提言に関連した論文も6編発表されたが、平和教育や池田思想の原点探求や道徳的価値といった新たな視点からの考察がなされ、発展的な研究成果が見られた。

文学観や芸術思想等の論文は5編発表されたが、この分野の論文は毎回のシンポジウムで提出されている。池田思想研究において確固たる領域を形成しつつある。この度は、撮影作品のみならず、美学教育の視点や音楽文化へと展開させた論文もあり大変に興味深い。比較研究の手法が用いられた論文は3編発表された。岳麓書院精神、東南アジアの道徳教育、中国の教育政策との比較である。客観的な分析という意味で、有益な手法であろう。池田思想の原点を探求する論文が4編発表された。テーマも「池田哲学の原点」「池田思想の原点」「池田の主題思想」「池田の生命哲学思想」というように、池田思想研究の深化がうかがえる。池田博士の創設した教育機関での教育実践を研究対象とした論文も2編発表された。それは創価大学と創価学園での教育実践であるが、新たな研究対象として提起されている。

なお本シンポジウムには、北京青年報、新京報、中国教育報、中国新聞、中国教育電視台等が取材に訪れ、後日報道された。

2) 新設の池田大作研究機関

湖南大学「池田大作研究会」（学生団体）

雲林科技大学「池田大作研究室」4月（台湾）

陝西師範大学「池田大作・香峯子研究センター」4月

広東社会科学院「広東池田大作研究会」5月

華南師範大学「池田大作先生教育思想研究所」5月

長春工業大学「創価精神研究会」（学生団体）7月

嘉応学院「池田大作文化哲学研究所」10月

紹興学院「池田大作思想研究所」11月

遼寧師範大学「池田思想研究会」（学生団体）11月

3) 池田研究の成果等

遼寧師範大学「池田大作平和文化研究所」が研究論文集『回帰と超越——池田大作の平和文化思想研究』（遼寧師範大学出版社2007年12月）を出版した。

天津社会科学院「周恩来と池田大作研究」グループが『池田大作と中国』（中央文献出版社2008年1月）を出版した。なお同グループは『中日関係における周恩来と池田大作』（中央文献出版社2006年11月）をすでに出版している。

南開大学で開催された「第3回周恩来研究国際シンポジウム」（2008年4月）において論文「池田大作の『心』の中の鄧穎超」が発表されている。

広西師範大学「池田大作教育思想研究所」が研究論文集『自然、人と調和——池田大作芸術教育思想研究論文集』（遼寧美術出版社2008年5月）を出版した。

中国文化大学「池田大作研究センター」（台湾）が「池田大作思想研究論文集」（第4号）（2008年6月）を発売した。

華中師範大学「池田大作研究所」の周洪宇副所長、蔡幸福研究員が『融通と創新——陶行知と牧口常三郎教育思想比較研究』（山東教育出版社2008年9月）を出版した。

2007年湖南師範大学にて開催したシンポジウムの論文集『多元文化と世界の調和——池田大作思想研究』（人民出版社2008年10月）が出版された。

また以下の研究課題が、日中友好学術研究助成プログラムに採択された。その内、研究助成は、「池田大作と世界文学」、「池田大作先生の教育倫理思想研究」、「創価教育の父——牧口常三郎教育思想研究」、出版助成は、「飲水思源、伝承創新——周恩来と中日関係の歴史的転換および両国の歩むべき未来の研究」、日本滞在研究助成は、「池田大作の体育思想研究」、「『法華経』の平和思想と池田氏の宗教理念の根源」である。